



[氏名] 榊原 清則（さかきばら きよのり）

[現職] 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

[職歴] 一橋大学商学部教授、英ロンドン大学大学院ビジネススクール准教授、慶應義塾大学総合政策学部教授を歴任。その間、米ハーバード大学研究員、米ミシガン大学客員准教授、科学技術庁科学技術政策研究所総括主任研究官などを勤めた。

[学会] 国際ビジネス研究学会、組織学会、日本ベンチャー学会、研究・技術計画学会

[編集歴]

『組織科学』（組織学会）編集長、『KEIO SFC JOURNAL』（湘南藤沢学会）編集長を歴任。

[社会的活動]

科学技術政策研究所総括主任研究官、産業技術総合研究所研究顧問、日本生産性本部経営アカデミー学長、公認会計士試験・試験委員、総合科学技術会議専門委員など。

[主要著書]

『企業ドメインの戦略論』中央公論社、1992年

『日本企業の研究開発マネジメント』千倉書房、1995年

『経営学入門（上）（下）』日本経済新聞社、2002年

『キャリア転機の戦略論』筑摩書房、2004年

『イノベーションの収益化』有斐閣、2005年

『イノベーションの相互浸透モデル』白桃書房、2011年

『アフターマーケット戦略』白桃書房、2012年

[学歴]

電気通信大学経営工学科卒業後、一橋大学大学院商学研究科の修士・博士課程を修了。商学博士（一橋大学）。

[関心領域]

企業経営(戦略、組織)全般、イノベーション、技術経営(MOT)、科学技術政策